

## 山梨県地球温暖化対策実行計画「進行管理指標」の見直し

## 3 家庭部門

見直し前					
No.	指 標	2013年度 (H25)実績	2020年度 (H32)目標	2030年度 (H42)目標	備考
5	環境家計簿回収率	23%	25%	32%	H22の開始時からH27までの回収率から設定

→

見直し後					
指 標	2013年度 (H25)実績	2020年度 (H32)目標	2030年度 (H42)目標	備考	
環境家計簿アプリ登録者数	—	2,000人	5,000人	平成31年1月の登録者数から毎月の増加数を設定	

## 【見直しの理由、方針】

- 電気やガスなど、家庭で使ったエネルギーの量を入力するだけで、グラフなどによってCO2排出量を簡単に「見える化」できる、環境家計簿アプリ「エコメモ」を2018年10月に導入した。
- 今後、同アプリの普及により、県民の温暖化防止活動の拡大を目指していくことから、指標の見直しが必要となった。
- 目標値の考え方：10月の導入からキャンペーン等で登録拡大を図り、1月までの4ヶ月で500人以上の登録者数を増やすことができた。今後も継続的に募集を行い、2020年度まで月50人以上の登録により2,000人を目指し、2030年には5,000人としたい。

## 7 横断的部門

見直し前					
No.	指 標	2013年度 (H25)実績	2020年度 (H32)目標	2030年度 (H42)目標	備考
1	クールシェアスポット賛同団体数	—	10団体	20団体	H29の賛同想定団体数から設定

→

見直し後					
指 標	2013年度 (H25)実績	2020年度 (H32)目標	2030年度 (H42)目標	備考	
クールシェアスポット賛同施設数	—	450施設	500施設	H29の参加施設数から設定	

## 【見直しの理由、方針】

- クールシェア賛同団体数は4団体→13団体となった。また、参加施設数は28施設→357施設に急増した。(平成30年度は412施設)
- 指標は、団体という括りで設定したが、業界団体に属さない個別施設も1団体とカウントしたり、成果として施設数を公表してきている。より実態(成果)を表せる指標とするため、指標を施設数としたい。
- 目標値の考え方：自然豊かな神社仏閣や市町村施設など、登録拡大が見込める施設に働きかけることとして、2020までに450施設まで拡大し、その後は、個別に掘り起こしを行い、2030年に500施設の登録を目指しながら、クールシェアの定着を図っていききたい。